

1. 来場者数等の推移

| 年 度 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| ホームページアクセス件数 ¹ | - | - | - | - | - | - | - | 31,771 | 34,571 | 39,405 | 88,025 | 122,621 | 114,159 | 122,955 | 121,559 |
| 施設公開回数 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 技術研修及び指導 体験学習 | 10 | 4 | 0 | 137 | 481 | 948 | 256 | 935 | 968 | 1,198 | 936 | 696 | 468 | 348 | 950 |
| 来場者数 ² インターンシップ | 31 | 2 | 3 | 12 | 39 | 180 | 2,528 | 2,289 | 1,473 | 7,238 | 2,945 | 1,703 | 2,164 | 1,696 | 1,982 |
| 見学 | 2 | 4 | 3 | 4 | 18 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 10 |
| その他 | 0 | 27 | 55 | 205 | 609 | 59 | 47 | 121 | 277 | 6 | 36 | 87 | 55 | 74 | 124 |
| 計 | 189 | 152 | 197 | 78 | 100 | 1,011 | 497 | 206 | 328 | 154 | 89 | 111 | 99 | 801 | 281 |
| 成果発表会 等の開催回数等 | 232 | 189 | 258 | 436 | 1,247 | 2,198 | 3,328 | 3,551 | 3,053 | 8,597 | 4,008 | 2,599 | 2,786 | 2,919 | 3,347 |
| 成果発表会 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| セミナー（講習会） | 4 | 14 | 7 | 11 | 5 | 18 | 12 | 14 | 19 | 33 | 24 | 18 | 5 | 5 | 5 |
| その他 | 0 | 0 | 4 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 5 | 15 | 12 | 22 | 6 | 19 | 13 | 15 | 20 | 34 | 25 | 19 | 6 | 6 | 6 |
| 業務年報 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 刊物の発行回数 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 成果情報 | 4 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 |
| 計 | 6 | 6 | 4 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 6 | 6 | 5 | 6 | 5 | 8 | 8 |

1 平成22～26年はグーグルアナリティクス集計による。

2 出前も含む。

2. 漁業関係者、学生等を対象とした主要な講習会，研修会及び報告会

| 年 月 日 | 場 所 | 対 象 | 人 数 | 表 題 | 担 当 |
|-------------|----------------------------|--|-----|----------------------------|--------------|
| 平成29年4月27日 | 由岐公民館 | 美波の海の恵み研究会 | 15 | ワカメ新品種試験用種苗の提供・養殖試験ほか | 海洋生産技術，南部県民局 |
| 平成29年4月28日 | 徳島グランヴィリオホテル | 中部底びき網協会代議員総会 | 50 | クルマエビの不漁と種苗放流について意見 | 課長 |
| 平成29年5月13日 | 水産研究課美波庁舎 | 漁業アカデミー生徒 | 8 | 講義 | 副課長 |
| 平成29年5月17日 | 水産研究課美波庁舎 | 和田島漁協組合長他役員 | 5 | ワカメの施肥試験について，藻類培養室ほか新庁舎の見学 | 海洋生産技術，環境増養殖 |
| 平成29年6月12日 | 阿部漁協 | 阿部漁協女性部 | 25 | 有用海藻について | 海洋生産技術 |
| 平成29年7月8日 | 県漁連 | クロノリ業者，県漁連職員 | 19 | 浜プラン助言 | 環境増養殖 |
| 平成29年7月14日 | 県漁連 | スジアオノリ業者，県漁連職員 | 28 | 浜プラン助言 | 環境増養殖 |
| 平成29年7月25日 | 水産研究課美波庁舎サテライト研究室，6次産業化研究室 | 阿南地区漁村生活改善推進協会 福村，糟泊，橋町漁協女性部 | 14 | 6次産業化推進協議 | 副課長 |
| 平成29年8月24日 | 水産研究課美波庁舎6次産業化研究室 | 漁業アカデミー生徒ほか | 10 | 6次産業化研修 | 海洋生産技術 |
| 平成29年8月25日 | 水産研究課美波庁舎 | 漁業アカデミー生徒ほか | 10 | 漁業講義 | 海洋生産技術 |
| 平成29年9月2日 | 美波庁舎第1会議室，6次産業化研究室 | 漁業者ほか | 100 | 第2回マリンサイエンスシンポジウム | 全課 |
| 平成29年9月11日 | 水産研究課美波庁舎サテライト研究室 | 日和佐漁協海士役員，組合長 | 10 | アワビ資源回復について | 課長 |
| 平成29年10月4日 | 徳島大学 | 徳島大学工学部生物工学科3年生 | 40 | 農工連携スタディーズ(水産の科学) | 環境増養殖 |
| 平成29年10月11日 | 徳島大学 | 徳島大学工学部生物工学科3年生 | 40 | 農工連携スタディーズ(水産の科学) | 海洋生産技術 |
| 平成29年10月18日 | 徳島大学 | 徳島大学工学部生物工学科3年生 | 40 | 農工連携スタディーズ(水産の科学) | 海洋生産技術 |
| 平成29年11月20日 | 長原漁協 | 川内，長原漁協ノリ養殖業者ほか，県漁連 | 16 | クロノリ養殖の開始時期について | 環境増養殖 |
| 平成29年12月22日 | 穴喰漁協 | 穴喰漁協，徳島大学浜野教授，海陽町，ニタコンサルタントほか，地域おこし協力隊，南部県民局 | 17 | 竹ヶ島海域公園魅力化事業検討会議，施肥試験の結果報告 | 海洋生産技術 |
| 平成30年1月17日 | 北灘漁協 | 北灘漁協，県漁連ほか | 18 | 県漁連へのワカメ出荷時期について | 環境増養殖 |
| 平成30年1月25日 | 和田島漁協 | ワカメ養殖漁業者，漁協関係者 | 7 | 藻類養殖用施肥剤の説明 | 環境増養殖 |
| 平成30年1月27日 | 西由岐漁協 | 西由岐，東由岐，志和岐漁協の海士，小島 博ほか | 15 | アワビ資源管理について | 海洋生産技術 |
| 平成30年2月10日 | ホテルグランドパレス徳島 | 船曳網漁業者，県漁連 | 40 | 鯿船曳網連合会総会 | 海洋生産技術 |
| 平成30年3月3日 | 海陽町役場海部庁舎 | 竹ヶ島海域公園自然再生協議会専門委員 | 8 | 竹ヶ島海域公園自然再生協議会専門委員会 | 海洋生産技術 |
| 平成30年3月4日 | 海陽町老人憩いの家 | 竹ヶ島海域公園自然再生協議会関係者 | 26 | 竹ヶ島海域公園自然再生協議会 | 海洋生産技術 |
| 平成30年3月27日 | 水産会館 | 漁協職員，市職員ほか | 17 | 魚類養殖対策協議会 | 海洋生産技術 |
| 合計 | | | 578 | | |

3. 一般県民を対象とした体験学習及び展示等

| 年 月 日 | 場 所 | 対 象 | 人 数 | 表 題 | 担 当 |
|-------------|--------------------|-----------------------------------|-------|-----------------------|--------|
| 平成29年4月26日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | (株)WDB環境バイオ研究所, 海陽町, 未来うつば協会, 漁業者 | 4 | 6次産業化研究室見学 | 海洋生産技術 |
| 平成29年5月13日 | 鳴門庁舎 | 徳島大学生物資源産業学部1年生と教員ほか | 38 | 新入生実習 | 環境増養殖 |
| 平成29年5月14日 | 鳴門庁舎 | 徳島大学生物資源産業学部1年生と教員ほか | 38 | 新入生実習 | 環境増養殖 |
| 平成29年5月20日 | 鳴門庁舎 | 徳島大学生物資源産業学部1年生と教員ほか | 38 | 新入生実習 | 環境増養殖 |
| 平成29年5月31日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 10 | キハダマグロのレトルト試作品作成 | 海洋生産技術 |
| 平成29年6月16日 | 美波庁舎研究防災棟 | 美波町議会議員と職員 | 17 | サテライトオフィス、研究防災棟見学 | 課長 |
| 平成29年6月21日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 10 | うつば、イワシ、マグロのレトルト試作品 | 海洋生産技術 |
| 平成29年6月22日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 10 | うつば、イワシ、マグロのレトルト試作品 | 海洋生産技術 |
| 平成29年7月18日 | 美波庁舎 | 南部地域政策総合会議計画推進評価部会委員ほか | 15 | DMVによる現地視察 | 海洋生産技術 |
| 平成29年8月22日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 6 | クロアナゴ、ウツボ、シーチキンレトルト加工 | 海洋生産技術 |
| 平成29年9月10日 | 美波庁舎研究防災棟 | 一般県民 | 30 | 新たな防災研究棟施設見学 | 海洋生産技術 |
| 平成29年11月4日 | 美波庁舎研究防災棟 | 美波町地元住民 | 30 | 防災訓練 | 海洋生産技術 |
| 平成29年11月4日 | 農林水産総合技術支援センター(石井) | 一般県民 | 400 | センターフェア, タッチングプール | 全課 |
| 平成29年11月5日 | 農林水産総合技術支援センター(石井) | 一般県民 | 200 | センターフェア, タッチングプール | 全課 |
| 平成29年11月7日 | 美波庁舎研究防災棟 | 徳島県議会水産振興議員連盟 | 28 | 漁業アカデミー生徒との意見交換会, 見学 | 副課長 |
| 平成29年11月9日 | 里浦小学校 | 里浦小学校5年生 | 20 | ワカメ養殖方法について講義 | 環境増養殖 |
| 平成29年11月19日 | 和田島漁協 | 一般県民 | 500 | 和田島チリメン祭, タッチングプール | 環境増養殖 |
| 平成29年11月25日 | 小松島漁協 | 一般県民 | 500 | 小松島うまいもん祭り, タッチングプール | 環境増養殖 |
| 平成29年12月6日 | 美波庁舎6次産業化研究室 | 日和佐中学校教諭と生徒 | 7 | 漁業について課外学習研究会 | 海洋生産技術 |
| 平成29年12月9日 | 農林水産総合技術支援センター(石井) | 一般県民 | 58 | アジアカエビ料理教室 | 環境増養殖 |
| 平成30年1月23日 | 鳴門庁舎 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 29 | 水産研究課の施設見学・研究内容紹介 | 環境増養殖 |
| 平成30年2月9日 | 鳴門庁舎 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 35 | 学生実習, 塩蔵ワカメ製造 | 環境増養殖 |
| 平成30年2月23日 | 鳴門庁舎 | 徳島科学技術高校教諭と生徒 | 35 | 学生実習, 塩蔵ワカメ製造 | 環境増養殖 |
| 合計 | | | 2,058 | | |

4. 水産研究所の報道実績

| No. | 報道日 | 報道機関 | 見出し及び内容 | 担当 |
|-----|-------------|----------------------|---|----------|
| 1 | 平成29年6月20日 | 徳島新聞 | ドローンで藻場観測/阿南高専開発に取り組む/2~3年後実証試験へ | 海洋生産技術担当 |
| 2 | 平成29年6月21日 | 中国新聞 | 豊かな海どう次代へ/中四国の沿岸6知事インタビュー/海に聞く瀬戸内海/徳島県飯泉嘉門知事「最先端の環境対策自負」 | |
| 3 | 平成29年6月22日 | 徳島新聞 | 農林水時代を開く/時代をつなぐ | 海洋生産技術担当 |
| 4 | 平成29年7月15日 | 徳島新聞 | 科技高海洋総合コース3年生/規格外の魚商品化へ/県や県南漁協と連携/油漬けや水煮試作 | 海洋生産技術担当 |
| 5 | 平成29年7月28日 | CATV石井 | 美波庁舎の機能強化/全国初の研究・防災施設の紹介(7月下旬放送) | 海洋生産技術担当 |
| 6 | 平成29年8月8日 | 徳島新聞 | 鳴門の潮流要因?/北灘に巨大ヒジキ自生/県水産研究課が確認/国産品増産手掛かりに | 海洋生産技術担当 |
| 7 | 平成29年8月22日 | 徳島新聞 | 鳴門ワカメ高水温で生産低迷/県と国の3機関研究グループ/28日初会合対策を協議 | 海洋生産技術担当 |
| 8 | 平成29年8月28日 | NHKワールドTV(テレビマニユニオン) | Trails to Tsukiji (ハモ) | 海洋生産技術担当 |
| 9 | 平成119年8月28日 | NHK徳6とくしま | ワカメ養殖における革新的な温暖化適応技術 | 海洋生産技術担当 |
| 10 | 平成119年8月29日 | 徳島新聞 | ワカメ屋内種苗生産/県と国連携/猛暑対策へ初会合 | 海洋生産技術担当 |
| 11 | 平成29年8月20日 | BSフジ(テレビマニユニオン) | 美しき酒呑みたち第30回すだちと踊る阿呆の徳島 | 海洋生産技術担当 |
| 12 | 平成29年9月3日 | 徳島新聞 | 県南の漁業振興探る/県などシンボ乱獲防止策など説明 | 海洋生産技術担当 |
| 13 | 平成29年9月8日 | 徳島新聞 | 県産アワビ減少傾向「種苗放流、藻場造成対策」 | 海洋生産技術担当 |
| 14 | 平成29年9月27日 | 四国放送 | 県産アワビ減少傾向「種苗放流、藻場造成対策」 | 海洋生産技術担当 |
| 15 | 平成29年10月5日 | 徳島新聞 | 牟岐の磯に猛毒ダコ/町と県注意呼びかけ | 海洋生産技術担当 |
| 16 | 平成29年10月6日 | 四国放送 | 牟岐の磯に猛毒ダコ/町と県注意呼びかけ | 海洋生産技術担当 |
| 17 | 平成29年12月11日 | 徳島新聞 | 読んで学ぼう/アジアカエビ甘さ体験/石井で料理教室 | 環境増養殖 |
| 18 | 平成29年12月22日 | 徳島新聞 | 養殖ワカメ色落ち防止技術開発、器具用栄養補給/県/来月から実験 | 環境増養殖 |
| 19 | 平成29年12月25日 | 朝日新聞(2面) | 養殖ワカメ色落ち防げ/徳島県開発/養分少しずつ溶ける装置 | 環境増養殖 |
| 20 | 平成29年12月25日 | 四国放送 | フォーカス徳島/藻類養殖施肥具について | 環境増養殖 |
| 21 | 平成29年12月29日 | 四国放送 | 「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」の番組内のCM放送/藻類養殖施肥具について | 環境増養殖 |
| 22 | 平成30年1月1日 | 朝日新聞 | ワカメ色落ち解消する技術開発/栄養不足対策で徳島県(ネット版) ※内容は、中国語に翻訳されて中国の経済ニュース(ネット版)に転載 | 環境増養殖担当 |
| 23 | 平成30年1月9日 | NHK | NHKニュース(6:45~ , 7:45~)/藻類養殖施肥具について | 環境増養殖 |
| 24 | 平成30年1月19日 | 徳島新聞 | 県産ワカメ生産量最少(16年)/過去10年/種苗の生育不良で(1面) | 海洋生産技術担当 |
| 25 | 平成30年1月19日 | 徳島新聞 | 県産ワカメ生産量最少/種苗育成を屋内で/県水産研究課/技術指導や普及推進 | 海洋生産技術担当 |
| 26 | 平成30年1月23日 | 毎日新聞 | 藻類養殖施肥具について(四国版) | 環境増養殖 |
| 27 | 平成30年1月23日 | 毎日新聞 | 藻類養殖施肥具について(ネット版) | 環境増養殖 |
| 28 | 平成30年2月10日 | NHKワールドTV(テレビマニユニオン) | Trails to Tsukiji(アオリイカ) | 海洋生産技術担当 |
| 29 | 平成30年2月21日 | 徳島新聞 | 水温上昇で磯焼け深刻な海部沿岸/県水産研究課調べ/テングサ増殖収入源期待/イセエビの生育場にも | 海洋生産技術担当 |
| 30 | 平成30年2月21日 | 徳島新聞 | 気候変動適応法案閣議決定/農林水産物の被害抑制/自治体に対策促す/徳島/ワカメやシリアオノリ高水温耐性の品種開発注力 | 海洋生産技術担当 |
| 31 | 平成30年2月22日 | 徳島新聞 | 美波町/漁業者・大学・IT企業交流促進/共同スペース整備/兼施設借用/課題解決や事業創出へ | 海洋生産技術担当 |
| 32 | 平成30年2月26日 | 徳島新聞 | 水産業とSO企業連携/美波の共創スペース開所 | 海洋生産技術担当 |
| 33 | 平成30年3月2日 | 徳島新聞 | 阿南・椿川の春の風物詩/シロウオ低水温で不漁/水揚げ昨年の1割以下/躍り食い好評/祭り開催ピンチ | 海洋生産技術担当 |
| 34 | 平成30年3月22日 | 徳島新聞(夕刊) | クロアナゴやウツボ 規格外の県南の魚/レトルト食品8種完成/科技高海洋コース3年生/漁業者の所得向上狙う | 海洋生産技術担当 |
| 35 | 平成30年3月28日 | 徳島新聞 | 天然カキで貝毒を検出/県、出荷規制を指導 | 環境増養殖 |
| 36 | 平成30年3月29日 | 徳島新聞 | 天然カキからまた貝毒検出/県、出荷規制を指導 | 環境増養殖 |

5. 研究業績

論文発表

- 1) 野田幹雄, 木下淳司, 棚田教生, 村瀬 昇(2017)短期間で発生したカジメ科海藻の磯焼けにおけるアイゴの食痕の特徴. 水産大学校研究報告, **66**, 111-122. ()
- 2) 牧野賢治, 上田幸男(2017) 正常なワカメと色落ちしたワカメの一般成分および遊離アミノ酸含量の比較. 徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課研究報告, **12**, 1-5.
- 3) 棚田教生, 中西達也(2017) 徳島県鳴門市北灘町折野産の種苗を用いた養殖ヒジキの記録的生長. 徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課研究報告, **12**, 7-10.
- 4) 上田幸男, 棚田教生(2017) 飼育下のアイゴの生残および摂餌に及ぼす冬季の低水温と餌の影響. 徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課研究報告, **12**, 11-19.
- 5) 上田幸男, 池脇義弘(2017) 徳島県におけるタチウオ曳縄の漁法と海中における漁具の動態. 徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課研究報告, **12**, 21-26.

学会発表

- 1) 岡 直宏, 齋藤 稔, 團 昭紀, 佐藤陽一, 中西達也, 浜野龍夫(2017) 有用海藻*Agardhiella subulata*の生長性とその利用について. 日本応用藻類学会ポスター, *Algal Resources*, **10**, 38.
- 2) 岡 直宏, 今井洋斗, 齋藤 稔, 團 昭紀, 棚田教生, 浜野龍夫(2017)ワカメ配偶体のフコキサンチン産生に対する水温の影響. 日本応用藻類学会第16回大会.
- 3) 棚田教生, 寺脇利信, 島袋寛盛, 吉田吾郎(2017)徳島県鳴門市沿岸の築堤式施設水門部に自然成立した全長3mを越えるヒジキ群落. 日本応用藻類学会第16回大会.
- 4) 棚田教生, 和田隆史(2017)徳島県沿岸におけるアイゴの大量出現とその影響. 平成29年度日本水産学会中国・四国支部例会.
- 5) 川俣 茂, 棚田教生(2017)波の場における割石の安定質量に関する現地実験. 平成29年度日本水産工学会学術講演会.
- 6) 村瀬昇, 棚田教生, 戸越飛鳥, 多田篤司, 野田幹雄, 阿部真比古, 吉田吾郎(2018)徳島県産ワカメ3種苗の高水温下における生長特性, 日本藻類学会第42回大会, 63.
- 7) 岡 直宏, 佐藤 陽一, 中西 達也, 團 昭紀, 齋藤 稔, 浜野 龍夫(2018)紅藻*Agardhiella subulata*の陸上養殖技術の開発. 日本藻類学会第42回大会, 6ポスター.
- 8) 生田健吾, 上田幸男, 湯浅明彦, 池脇義弘, 棚田教生, 小林志保(2018)徳島県沿岸ワカメ漁場における栄養塩起源推定. 平成30年度日本水産学会春季大会.